

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣対策総合研究事業）  
分担研究報告書

千葉県における観察研究

研究協力者 佐藤 眞一（千葉県衛生研究所）  
研究協力者 高澤みどり（市原市保健センター）  
研究代表者 安藤 雄一（国立保健医療科学院）

研究要旨

千葉県の初年度特定健診受診者 12 万人のデータを用いて、自覚的な食べる速さと BMI、臍周囲径、特定保健指導区分を比較した結果、「早食い」と「肥満やメタボリックシンドローム」が正の関連があることを確認した。しかし、歯周疾患検診と同時に特定健診を実施していたのは 4 市町に過ぎず、結果を併せて活用している市町村は無かった。口腔機能を把握した上で効果的な「早食い」是正の指導につなげるためには、歯科保健と成人保健の関係者連携が、有効かつ喫緊の課題であると考えた。

A. 研究目的

千葉県は、人口当たりの医師・看護師等の数が最下位レベルに低いなど、医療資源の充足率が低い県であるが、歯科医師数だけは中位レベルである。また、市町村における歯科衛生士（常勤）数は、54 市町村中の 34 市町村で 80 人と、最上位レベルである。一方、高齢化は今後 10 年間に全国 2 位の速さで進むことが予測されている。これらのことから、歯科保健と成人保健・老人保健の一層効果的な連携を模索することは、重要な政策課題である。このたび研究協力の機会を得たので、本班では、特定健診・保健指導における歯科保健の関与につき、歯周疾患検診との関連も視野に検討することとした。

初年度は、佐藤が関わってきた研究成果から、「早食い」が摂取エネルギーを調整しても「肥満やメタボリックシンドローム」につながることを示した。

昨年度は、千葉県の初年度特定健診受診者 12 万人のデータを用いて、自覚的な食べる速さと BMI、臍周囲径、特定保健指導区分を比較した結果、「早食い」と「肥満やメタボリックシンドローム」が正の関連があることを示した。これらのことは、エ

ネルギー出納と異なる視点での新たな保健指導につなげうる可能性が認められたと考える。

今年度は、さらに歯周疾患検診との関連や、横断成績として「早食い」と「肥満およびその関連疾患」との関連が認められるかを検討していくためその実態を把握する目的で、「歯周疾患検診と特定健診・保健指導について」の質問紙調査を実施した。

B. 研究方法

平成 23 年 10 月、県内 54 市町村に、歯科保健と特定健診等について郵送による質問紙調査を実施した。回答は郵送またはメール・fax とした。なお本調査は、千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例（平成 22 年 4 月 1 日施行）に基づく県民の歯科疾患等の実態について必要な調査（第 12 条）のひとつと位置付け、県担当課の協力の下で全市町村からの回答を得た。

C. 研究結果

歯周疾患検診実施市町村は 40（74.1%）、そのうち 6 市町は他の健診と同時開催で、その内訳は特定健診 4、骨粗しょう症検診 2、

がん検診 1 結核検診 2 (複数実施あり) であった。歯周疾患検診を単独で実施しているまたは、現在歯周疾患検診を実施していない市町村のほとんどが、今後変更の予定はないと回答している。また、歯周疾患検診と特定健診のデータを統計分析している市町村は 0 で、HbA1c や BMI のデータを活用しているのは 2 市のみであった。37 市町村 (68.5%) が特定健診・保健指導に歯科に関する項目が全く入っていない状況であった。肥満や糖尿病に関する教室等と歯科保健のかかわりについては、29 市町村 (53.7%) があり、半数が糖尿病に関するものであった (資料参照)。

#### D. 考察

歯周疾患検診および特定健診はどちらも生活習慣病予防の対策であるが、双方が連動していない実態が確認された。全ての市町村に対して、資料に示す前文を付けて送付し、教育的効果を狙った質問紙調査であったが、ほとんどの市町村で歯周疾患検診の変更予定が無く、特定健診・特定保健指導においても、肥満や糖尿病等に関する教室においても、歯科に関する項目は全く入っておらず、近い将来関わることができそうとしたのは 1 市町村に留まった。個人データのリンケージも、歯周疾患検診については全くなされていない。

公務員としての守秘義務を負った市町村歯科衛生士は、本務として個人データをリンケージして活用できるので、市町村栄養士・保健師と連携して効果的な成人保健・老人保健につなげるための一層の努力が求められると考える。

この活動を支えるため、我々ができることは、県として、あるいは県歯科衛生士会として一層の情報提供をするとともに、個別具体的な技術的援助を行い、その結果をフィードバックしていくことであろう。研究班として HP を通じての情報提供をし、国に働きかけることも継続的な課題と考える。

E. 健康危険情報  
なし

#### F. 研究発表

1. 論文発表  
なし

2. 学会発表  
第 61 回日本口腔衛生学会

G. 知的財産権の出願・登録状況  
なし

#### H. 研究協力者

千葉県健康福祉部健康づくり支援課員

各市町村歯科衛生士 様

平成 23 年 月 日

厚生労働科学研究  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業  
口腔機能に応じた保健指導と肥満抑制やメタボリック  
シンдрローム改善との関係についての研究

研究代表者 安藤 雄一（国立保健医療科学院）

研究協力者 佐藤 眞一（千葉県衛生研究所）

研究協力者 高澤みどり（市原市保健センター）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私どもは、厚生労働科学研究 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 口腔機能に応じた保健指導と肥満抑制やメタボリックシンдрローム改善との関係についての研究事業を行っております。

昨年度は、千葉県において、特定健診受診者 12 万人のデータを用いて、自覚的な食べる速さと BMI、臍周囲径、特定保健指導区分を比較した結果、「早食い」と「肥満やメタボリックシンдрローム」が正の関連があることが示唆されました。このことは、エネルギー出納と異なる視点での新たな保健指導につなげうる可能性が認められたと考えられます。

今年度は、さらに歯周疾患検診との関連や、横断成績として「早食い」と「肥満およびその関連疾患」との関連が認められるかを検討していくためその実態を把握するため、別紙「歯周疾患検診と特定健診・保健指導について」のアンケート調査をお願いする次第です。この結果の一部は、厚生労働省に報告書として提出し、今後のメタボリックシンдрロームの改善に歯科からの新たな関わりに活かされるよう努力する所存です。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本調査に関するお問い合わせは以下にお願いいたします。

〒290-8502

市原市更級 5 - 1 - 2 7 市原市保健センター

歯科衛生士 高澤 みどり

TEL0436-23-1187 fax0436-23-1295

Mail: m-takazawa84@city.ichihara.chiba.jp

※〔 〕内の数値は頻度を示す

「歯周疾患検診と特定健診・保健指導について」アンケート調査

- 貴市町村名 [ 54/54 回収率 100% ]
- 記入者名（職種） [ 歯科衛生士 32、保健師 19、栄養士 1、事務職 2 ]

Q 1. 歯周疾患検診（成人歯科健診）について、特定健診やがん検診等と同時開催をしていますか、該当する項目に○をつけてください

- [ 6 ] 同時開催している ⇒ Q 2 へ
- [ 34 ] 同時開催していない ⇒ Q 3 へ
- [ 14 ] 歯周疾患検診（成人歯科健診）を実施していない ⇒ Q 3 へ

Q 2. 歯周疾患検診（成人歯科健診）と他の健診を同時開催している市町村にお尋ねします。何の健診と同時開催していますか

- [ 特定健診 4、骨粗しょう症検診 2、子宮がん検診 1、結核検診 2 ]

Q 3. 現在、歯周疾患検診（成人歯科健診）と他の健診を同時開催していない市町村にお尋ねします。今後、同時開催する予定はありますか、該当する項目すべてに○をつけてください

- [ 0 ] 特定健診と同時開催の予定である
- [ 0 ] がん検診等と同時開催の予定である  
( )
- [ 2 ] 歯周疾患検診の変更について検討中、または検討予定である  
( 特定健診と同時開催について検討中、歯科医師会と検討中 )
- [ 39 ] 歯周疾患検診の変更予定はない
- [ 7 ] その他（三歳児健診の保護者健診、予算要求中だが同時開催の予定無し等）
- [ 6 ] 未記入

Q 4. 特定健診・特定保健指導のデータを歯科保健事業に活用していますか、該当する項目すべてに○をつけてください

- [ 0 ] 歯周疾患検診のデータと統計分析している  
( )
- [ 2 ] ヘモグロビンA1cのデータを活用している  
( ヘモグロビンA1cと歯周病の関係について健康教育実施、  
特定保健指導対象者に案内 )
- [ 1 ] メタボリックシンドローム判定のデータを活用している  
( 特定保健指導対象者に案内 )
- [ 1 ] BMIのデータを活用している  
( 特定保健指導対象者に案内 )
- [ 51 ] 特に活用していない  
( )
- [ 1 ] 未記入

Q 5. 特定健診・特定保健指導と歯科分野とのかかわりについて、該当する項目すべてに○をつけてください

- [ 37 ] 歯科に関する項目は全く入っていない
- [ 4 ] 特定健診には何らかの関係がある  
(情報提供対象者に配布するリーフレットに歯科の記事を掲載、22年度生活機能評価実施、情報提供紙に歯科相談事業案内記載 )
- [ 10 ] 特定保健指導に何らかの関係がある  
(指導対象者に歯科健診受診券発送、動脈硬化や肥満等に関する内容を含んでいる、22年度は教育相談を実施したが23年度は実施無し、成人歯科相談につなげる、対象者に健康教育、初回支援時に歯の健康に関する指導 )
- [ 6 ] 担当者に対し、積極的に糖尿病や肥満との関係を伝えている
- [ 1 ] 現在はできていないが、近い将来関わることができそうである  
(糖尿病と歯周病予防や生活習慣の改善による歯周疾患の予防 )
- [ 3 ] その他  
(特定保健指導の運動講座来所者にミニ講話実施、特定健診と併設して歯科相談実施しているので問診票にセレクトする歯科項目あり )

Q 6. 肥満や糖尿病に関する教室等と歯科分野とのかかわりについて、該当する項目すべてに○をつけてください

- [ 26 ] 歯科に関する項目は全く入っていない
- [ 9 ] 肥満に関することには関わりがある  
(嚙ミング30伝える、講話、減量教室で講話、メタボ予防教室等で嚙むことについて教育、健康教育で関連啓発 )
- [ 10 ] 早食いにすることには関わりがある  
(嚙ミング30伝える、講話、減量教室で講話、メタボ予防教室等で嚙むことについて教育、健康教育で関連啓発 )
- [ 16 ] 糖尿病に関することには関わりがある  
(糖尿病教室で歯科講義実施、教室卒後グループとの関わりの中で歯周病予防を計画、教室参加者に歯ブラシやパンフレット配布、22年度は糖尿病予防教室で歯科衛生士の講話実施、糖尿病予防教室で説明、減量教室で講話、糖尿病予防教室や血糖値改善教室実施、歯科医師による講演会、健康教育で関連啓発 )
- [ 7 ] 担当者に対し、積極的に糖尿病や肥満との関係を伝えている
- [ 1 ] 現在はできていないが、近い将来関わることができそうである  
( )
- [ 9 ] その他  
(糖尿病セミナーや糖尿病自主グループに歯周病予防や口腔ケアを啓発、歯科健康教育において肥満や糖尿病との関わりを話す、教室を実施していない、生活習慣病予防講座に歯周病予防の講話、介護予防事業にて健口教室実施、各種教室で咀嚼と肥満予防をPR、骨粗しょう症予防教室で健康教育実施 )

差し支えなければ、連絡先アドレスをご記入ください。

[

]

ご協力ありがとうございました

- ・収集した個人情報は、研究者の下で厳重に管理し、年度末に廃棄します。
- ・個人情報に関わらない情報は、当該研究成果として公表するとともに、行政資料として役立てます。

返信先：高澤みどり

**F A X : 0 4 3 6 - 2 3 - 1 2 9 5**

**m-takazawa84@city.ichihara.chiba.jp**